

都市再生整備計画 事後評価シート
清水中心市街地活性化地区

平成23年3月

静岡県静岡市

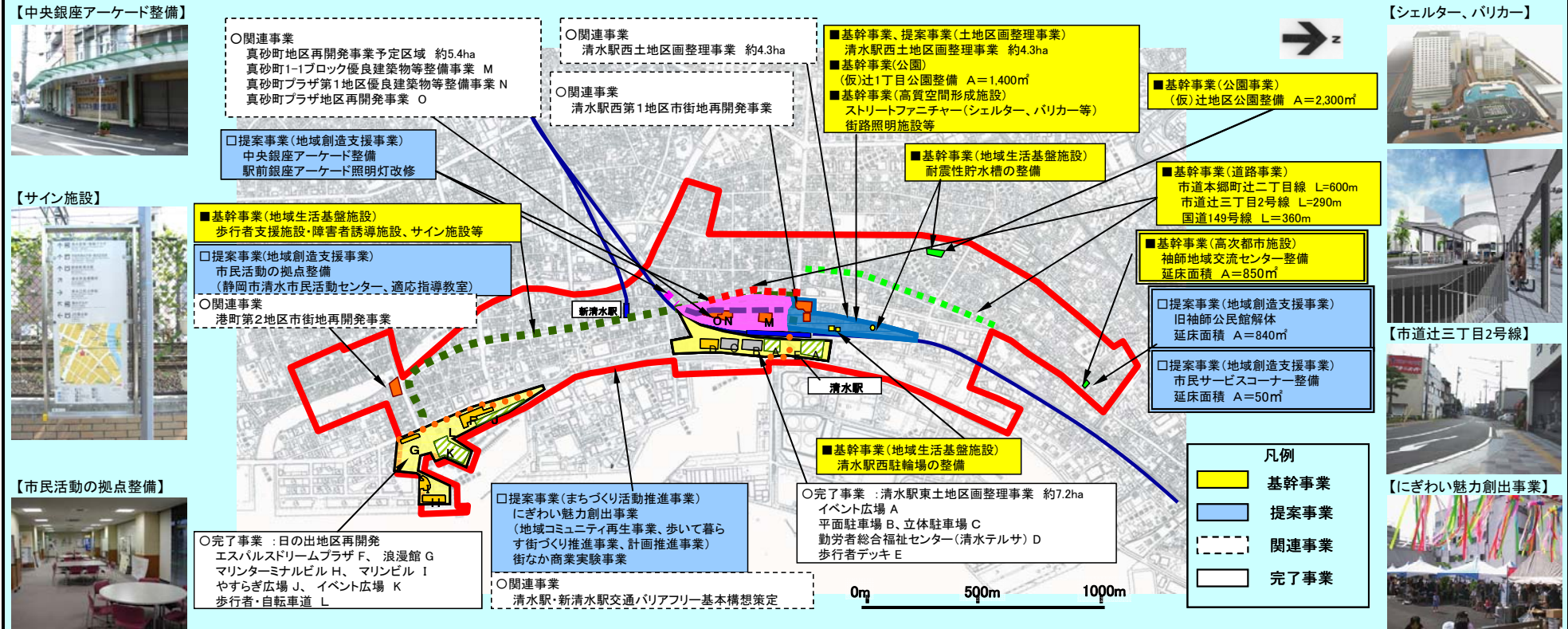
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	清水中心市街地活性化地区			面積	187ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	4910.2百万円	国費率	0.408				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 提案事業	事業名 地域生活基盤施設(清水駅西・耐震性貯水槽整備)、高質空間形成施設(清水駅西・緑化施設・シェルター・バリアカー等)、清水駅西土地区画整理事業 中央銀座アーケード整備、静岡市清水市民活動センター整備、適応指導教室整備、街なか商業実験事業、にぎわい魅力創出事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業 提案事業	高質空間形成施設:さつき通り等・歩行支援施設、サイン施設等			地域生活基盤施設へ移行			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 項目の変更のため、影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:市道本郷町辻二丁目線・市道辻三丁目2号線・国道149号 公園:(仮)辻地区公園・(仮)辻1丁目公園 地域生活基盤施設:清水駅西駐輪場・さつき通り等・歩行支援施設、サイン施設等 高質空間形成施設:街路照明等整備 高次都市施設:袖師地域交流センター整備			市道本郷町辻二丁目線、市道辻三丁目2号線:合意形成完了 国道149号、(仮)辻地区公園、袖師地域交流センター整備:地元要望 (仮)辻1丁目公園:駅西土地区画整理事業より移行 清水駅西駐輪場:計画の必要性 さつき通り等・歩行支援施設、サイン施設等:高質空間形成施設から移行 街路照明等整備:駅西土地区画整理事業の事業精査			・指標「人口」を「都市基盤に対する住民の満足度」に変更 ・小目標に「交流による活気あるまちづくり」、指標に「交流頻度」を追加				
		提案事業	駅前銀座アーケード整備、清水駅西土地区画整理事業、旧袖師公民館解体、市民サービスコーナー整備			アーケード整備:照明灯改修追加 土地区画整理事業:建物補償費の追加 公民館解体、市民サービスコーナー整備:地元要望			・数値目標である「来街者満足度」に寄与する ・小目標に「交流による活気あるまちづくり」、指標に「交流頻度」を追加				
	交付期間の変更	当初 変更	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							-	
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	都市基盤に対する住民の満足度(①生活道路等の整備状況に関するアンケート調査 ②公園・緑地等の満足度に関するアンケート調査)	%	①47.4 ②10.2	H20	①50.1 ②25.7	H22	—	①65.8 ②56.2	○	あり	①歩道のバリアフリー化や舗装の改良により、道路等の整備状況に対する満足度が向上し、都心居住の定着化に寄与した。 ②公園や緑地が少なかった地区での公園整備により公園・緑地等への満足度が向上し、都心居住の定着化に寄与した。	H24.8
	指標2	歩行者通行量	人	2,942	H18	2,383	H22	2,383	2,278	△	あり	歩行者通行量の減少傾向を食い止めることはできなかったが、駐輪場や周辺の拠点整備、アーケード改修、サイン整備等により、歩行者通行量の減少幅が以前に比べ緩和され、歩行者回遊型のまちづくりに寄与した。	H24.8
	指標3	来街者満足度	%	22	H17	30	H22	23	30	○	あり	老朽化していたアーケードの改修やサイン施設の設置等により、満足度が向上し、通行者の回遊意欲の向上に貢献した。	H24.8
	指標4	交流頻度	人/年	21,947	H19	34,660	H22	—	39,316	○	あり	既存交流施設における部屋構成の改善、バリアフリー化等により、施設の利用者数が増加し、幅広い世代に利用される交流拠点が形成された。	H24.6
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内において横断的な事業検討体制が構築された。 ・清水まちづくりカレッジを契機として、大学生等と連携を図ってまちづくりを盛り上げていく機運ができた。 ・公園整備や地域交流センターの整備に先立ち、説明会やワークショップを実施することにより、市民にまちづくりに関する情報提供を行うとともに、市民の主体的なまちづくりへの関与を促すことができた。 												
	5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
モニタリング		・H20 指標の達成状況を計測して、市内内組織による横断的な連絡調整会議を実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・他地区の計画や、今後の計画策定に際しても、構築された横断的組織において検討を行っていく。				
住民参加プロセス		①H18 まちづくりカレッジの実施 ②H20～21 公園整備に係る説明会、ワークショップの実施 ③H20～21 交流センター整備に係る説明会、ワークショップの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●※① ●※②③ ①大学と地域の連携した取り組みを進めて、協働してイベントなどのまちづくり活動を継続していくとともに、まちづくりカレッジで提案されたことを活かしていく仕組みづくりや、様々な分野の方を対象としたまちづくり検討の体制・場づくりを検討する。 ②③他の事業においても同様に住民との計画づくりにより広く情報提供及び意見収集を行いながら事業を進める。				
持続的なまちづくり体制の構築	・中心市街地活性化協議会の設立			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・今後も清水中心市街地活性化協議会の活動を支援していく。					

様式2-2 地区の概要

清水中心市街地活性化地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
ノーマライゼーションの理念を取り入れて「歩いて暮らせる都心づくり」を図る。 ・都心居住を推進する。 ・歩行者回遊型の都心づくりを進める。 ・交流による活気あるまちづくり	都市基盤に対する住民の満足度	単位: %	①47.4 ②10.2 H20	①50.1 ②25.7 H22	①65.8 ②56.2 H22			
	歩行者通行量	単位: 人	2,942	H18	2,383	H22	2,278	H22
	来街者満足度	単位: %	22	H17	30	H22	30	H22
	交流頻度	単位: 人/年	21,947	H19	34,660	H22	39,316	H22



まちの課題の変化

(達成された課題)

- ・道路のバリアフリー化や公園等の憩い空間の創出により、都心居住を行うための基盤が改善された。
- ・公園、地域交流センター等の住民のコミュニティ形成の場が整えられた。
- ・アーケード改修やサイン整備により、歩行者回遊型のまちづくりに寄与した。
- ・歩道のバリアフリー化、街路灯の設置等により、安心して歩ける環境が形成された。
- ・まちづくりカレッジの実施を契機として、商店街と大学生が連携してまちづくりに取り組む機運が生まれている。
- ・公園や地域交流センター整備に関する説明会やワークショップを実施し、市民のまちづくりへの関与を促すことができた。

(未解決の課題)

- ・都市基盤、交流拠点の整備効果を活かし、人口増加による地域活力の向上を図る必要がある。
- ・多様な世代に対応したまちづくりを図るため、社会福祉、雇用創出につながる施策を講じる必要がある。
- ・集客施設の充実を図るとともに、商店街との連携を推進し、多様な魅力を創出する必要がある。
- ・歩行空間の整備をより広い範囲で促進する必要がある。

(新たな課題)

- ・区画整理、再開発事業等によって転入する多くの住民に、地域の一員として、地元自治会などと協力していく努力が求められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・拠点施設・交流施設の継続的な利用の促進: 市民活動センターや公園等の施設が持続的に利用されるよう、維持管理及びPRを行っていく。
- ・市民のまちづくりへの参画意識の向上: 住民への情報提供及び意見収集を行いながら事業を進める。
- ・商店街と大学生等の連携によるまちづくりの継続: 商店街と大学生の連携により、今後も商店街の活性化につながるイベント等を実施していくとともに、まちづくりカレッジ等で提案されたことを活かしていく仕組みづくりや、様々な分野の方を対象としたまちづくり検討の体制・場づくりを検討する。
- ・居住人口の増加: 継続的な都心居住の推進を図るべく、都市型住宅の供給を行う。
- ・安全で安心して移動できる歩行空間の形成: 道路のバリアフリー化や連続した歩道の整備を進める。
- ・社会福祉、雇用創出につながる都市的機能の充実: 公共機能の強化を図るとともに、就業装置として、魅力ある商業機能の充実を図る。
- ・集客施設の充実と商店街との連携: 集客施設の整備によりにぎわいを創出する。また、集客施設、商店街及び周辺住民が連携を図り商店街の魅力を向上する。
- ・地域コミュニティの強化: 地域のイベントや自治会・町内会等の活動の支援を継続していく。